

電気設備工事特記仕様書

| | |
|---|---|
| 1 工事概要 1.1 工事名 2 2 がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事設計 1.2 工事場所 埼玉県北足立郡伊那町大字小室771番地1他 1.3 工期 契 約 日 から 令和 5年 6月 23日 まで | |
| 1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する) | |
| ○ 電灯設備 ○ 動力設備 ○ 電熱設備 ○ 雷保護設備 ○ 受変電設備 ○ 電力貯蔵設備 ○ 発電設備 ○ 構内情報通信網設備 ○ 構内交換設備 ○ 情報表示設備 ○ 映像、音響設備 ○ 拡声設備 (非常放送設備) ○ 誘導支援、呼出し設備 | ○ テレビ共同受信設備 ○ テレビ電波障害防除設備 ○ 監視カメラ設備 ○ 駐車場管制設備 ○ 防火、入退室管理設備 ○ 自動火災報知設備 ○ 自動閉鎖設備 ○ ガス漏れ火災警報設備 ○ 電話設備 ○ 中央監視制御設備 ○ 医療関係設備 ○ 昇降機設備 ○ 時計設備 |

1.5 指定部分 ○無 ・有 (工期:令和 年 月 日)
 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合)

- 専任期間の始期
 - 請負契約締結の日から、(・現場施工に着手するまで (現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで)の期間 ・令和 年 月 日までの期間) については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間の終期
 - 工事完成後、検査が終了し (発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
- 専任期間の中断
 - 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時的中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要
 【本規模】建築延べ面積：12,814.31㎡ 主要構造：層数：SRC造 地上1階地下1階、接岸1階

1.8 工事概要
 ・セミナー室を入退院サポートセンターへ改修を行う。
 ・入院受付をセミナー室へ改修を行う。

1.9 同時期発注の関連工事 ○建築工事 ○機械設備工事

- ## 2 工事仕様
- 共通仕様
 - (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編)、公共建築設備工事標準準図 (電気設備工事編) (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。
 - なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
 - (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
 - (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
 - 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。)

| 項 目 | 特 記 事 項 |
|-----|---------|
|-----|---------|

| 項 目 | 特 記 事 項 |
|---------------|---|
| 1 機材等 | 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 |
| 2 施工条件 | 施工時間 ※行政機関の休日に関する法律 (S63第91号) に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 |
| 3 工事用電力・水 | 本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。 |
| 4 工事用仮設物 | すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。 |
| 5 足場・さんばし類 | ※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。 |
| 6 監督員事務所 | 本工事で ・設ける (規模) ※設けない |
| 7 保 険 | 受注者は工事的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている相立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。 |
| 8 再使用機材 | 取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。 |
| 9 建設リサイクル法の適用 | 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する (契約金額による) ・ 適用しない |
| 10 完成図書の電子納品 | 完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・適用しない 完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表 (名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等) を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A・1二つ折り1部及びA・3二つ折り3部とする。 |
| 11 発生材処理 | 引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事 ・別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再生資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。 |

| 1 2 金属電線管の塗装 | 露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。ただし、見えかきり部の塗装については監督員の指示による。 壁等の鍵は、既存壁及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。 | | | | |
|--------------------|---|-------|-------|-----|---|
| 1 3 鍵 | | | | | |
| 1 4 地中電線路 | (1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。 <table border="1"> <tr> <th>敷き均し土</th> <th>管 種 別</th> </tr> <tr> <td>良質土</td> <td> 硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) </td> </tr> </table> (2) 地中電線路には、ケーブル埋設機及び保護シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の保護シートの図面特記による。 (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。 | 敷き均し土 | 管 種 別 | 良質土 | 硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) |
| 敷き均し土 | 管 種 別 | | | | |
| 良質土 | 硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性強化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) | | | | |
| 1 5 回路の種別 行先の表示 | ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。 | | | | |

1 6 電線の接続
 湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
 上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

1 7 電線管の接続
 屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚膜電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

1 8 接地工事
 漏電遮断器で保護されている回路と保護されていない回路のD種接地極が共用しない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑/黄又は緑/色帯で区別する。

1 9 残土処分
 埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。

2 0 再生砂・再生アスコン
 契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。
 再生砂使用に先立ち、1購入あたり1棟体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

2 1 耐震施工
 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」 (独立行政法人建築研究所監修) による。
 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
 (1) 設計用水平地震力
 機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
 なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

| 設置場所 | 機器種別 | 特定の施設 | | 一般の施設 | |
|---------------|------------|-------|------|-------|------|
| | | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階 屋上及び塔屋 | 機 器 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 防振支持の機器 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| | 水 槽 類 (※1) | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 中間階 | 機 器 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振支持の機器 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 水 槽 類 (※1) | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| 地下・1階 | 機 器 | 1.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 |
| | 防振支持の機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 水 槽 類 (※1) | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |

【備 考】 (※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
 ・配電盤 ・発電装置 (防災用) ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置
 ・交換機 ・火災報知器受信機 ・中央監視装置 ・太陽光発電装置
 上層階の定義は次による。
 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
 (2) 設計用鉛直地震力
 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

2 2 あと施工アンカー
 機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
 施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
 (原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
 あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

2 3 はつり及びあと施工アンカー打設
 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。

2 4 改修部分の足場
 本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
 (1) 内部足場 ※ 脚立足場
 (2) 外部足場 ※ A種 (枠組足場) ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種
 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について (厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日) の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

2 5 墜落制止用器具 (フルハーネス型)
 ※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による
 ・使用を要しない

2 6 アスベスト事前調査結果の報告
 全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。

2 7 電気保安技術者
 (a) 受注者は、電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。
 (b) 電気保安技術者は、次による者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料を監督員に提出して承諾を受ける。

(1) 事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者、一級電気工事施工監理技士又はこれと同等の知識及び経験を有する者。
 (2) 一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者。
 (c) 電気保安技術者は、監理技術者、主任技術者、現場代理人が兼任できる。
 (d) 電気保安技術者は、監督員の指示に従い、電気工作物の保安業務を行う。
 (e) 電気主任技術者は別途配置している電気工作物に係る工事においては、電気主任技術者及び監督員と協議し保安業務に支障がないよう努める。

2 8 工事用電力設備の保安責任者
 (a) 受注者は、工事用電力設備の保安責任者として、関係法令に基づき、有資格者を定め、監督員に報告する。
 (b) 保安責任者は、前項25の電気保安技術者が兼任できる。
 (c) 保安責任者は、適切な保安業務を行う。

2 9 その他
 (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
 (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
 (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
 (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
 (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
 (6) 改修工事等を行う場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
 (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
 (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
 (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せて設定すること。
 (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
 以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

| 項 目 | 特 記 事 項 |
|-------------|--|
| 1 電灯設備 | (1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント (2P15A) は運用形とする。なお、2ロコンセントは模式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができ。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとす。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継絆 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れた場合は継絆を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継絆を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころしが配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。 |
| 2 動力設備 | (1) 動力制御盤及び開閉器の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。 |
| 3 雷保護設備 | 受雷部突針はL R 1とする。 |
| 4 受変電設備 | 高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ・耐塩用 ・一般用) 受 電 電 圧 柱上高圧気中 負荷開閉器 (PAS) 主 進 断 装 置 変圧器設備容量 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar × 台 直列リアクトル ・6% ・13% kVar × 台 |
| 5 構内情報通信網設備 | ネットワーク機器を壁内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。 |
| 6 電力貯蔵設備 | ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ (概要) |

| 項 目 | 特 記 事 項 |
|-------------------------------------|--|
| 7 発電設備 | ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給 (コージェネ) 発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要) |
| 8 構内交換設備 | 局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。 |
| 9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備) | (1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。 |
| 10 昇降機設備 | 特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。 |

2.4 取付高さ
 壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

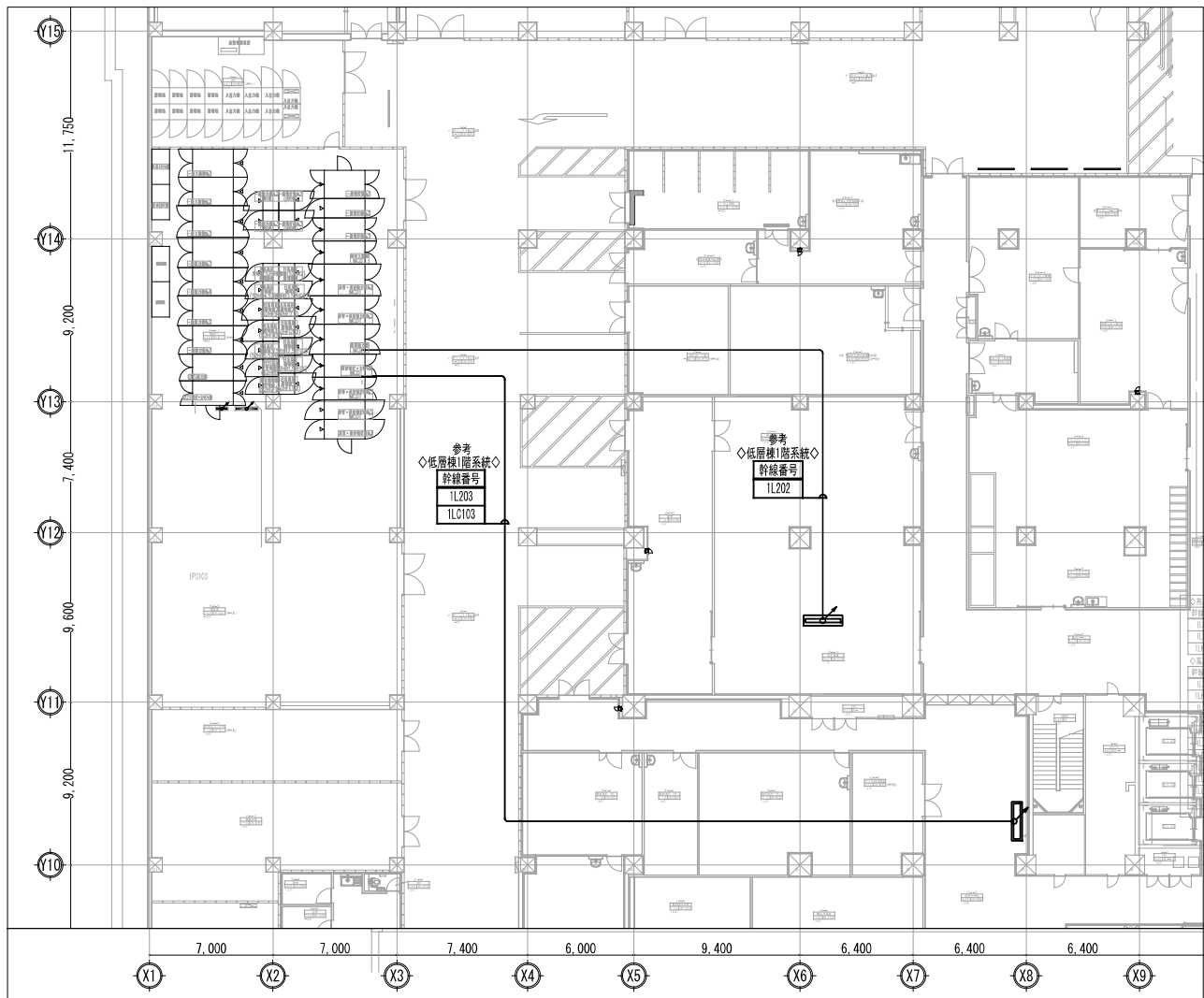
| 名 称 | 測 点 | 取付高さ (mm) | |
|----------------------------|-------|------------------|------------------|
| | | 一 般 | 県営住宅 |
| スイッチ (一般) | 床面～中心 | 1,300 | 1,200 |
| ” (身体障害者用) | ” | 1,100 | 1,000 |
| ” (人感センサー切換用) | ” | 2,000 | 2,000 |
| コンセント、電話用70Vレット、直列エント (一般) | ” | 300 | 400 |
| ” (和室) | ” | 150 | 200 |
| ” (台上) | 台上～中心 | 150 | 500 |
| 防水型コンセント | 床面～中心 | 500 | 500 |
| 分電盤、制御盤、開閉器箱 | ” | (上端1,900以下)1,500 | (上端1,900以下)1,500 |
| 呼出ボタン (身体障害者用) | ” | 900 | 900 |
| 復帰ボタン (”) | ” | 1,800 | 1,800 |
| 廊下表示灯 (”) | ” | 2,000 | 2,000 |
| 端子盤 | ” | (上端1,900以下)1,500 | 2,000 |

- ### 3 その他
- 他工事との取合区分
 発注図又は工事区分表による。
 - 図面上の縮尺
 図面上の縮尺は、JIS A 1版とした縮尺とする。
 - 疑義
 本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
 - 改修工事による既設停電が必要な場合は施工側と調整を行う。
 - 工事手順については、セミナー室を入退院サポートセンターへ改修が完了した後に入院受付からセミナー室への改修工事を行う。

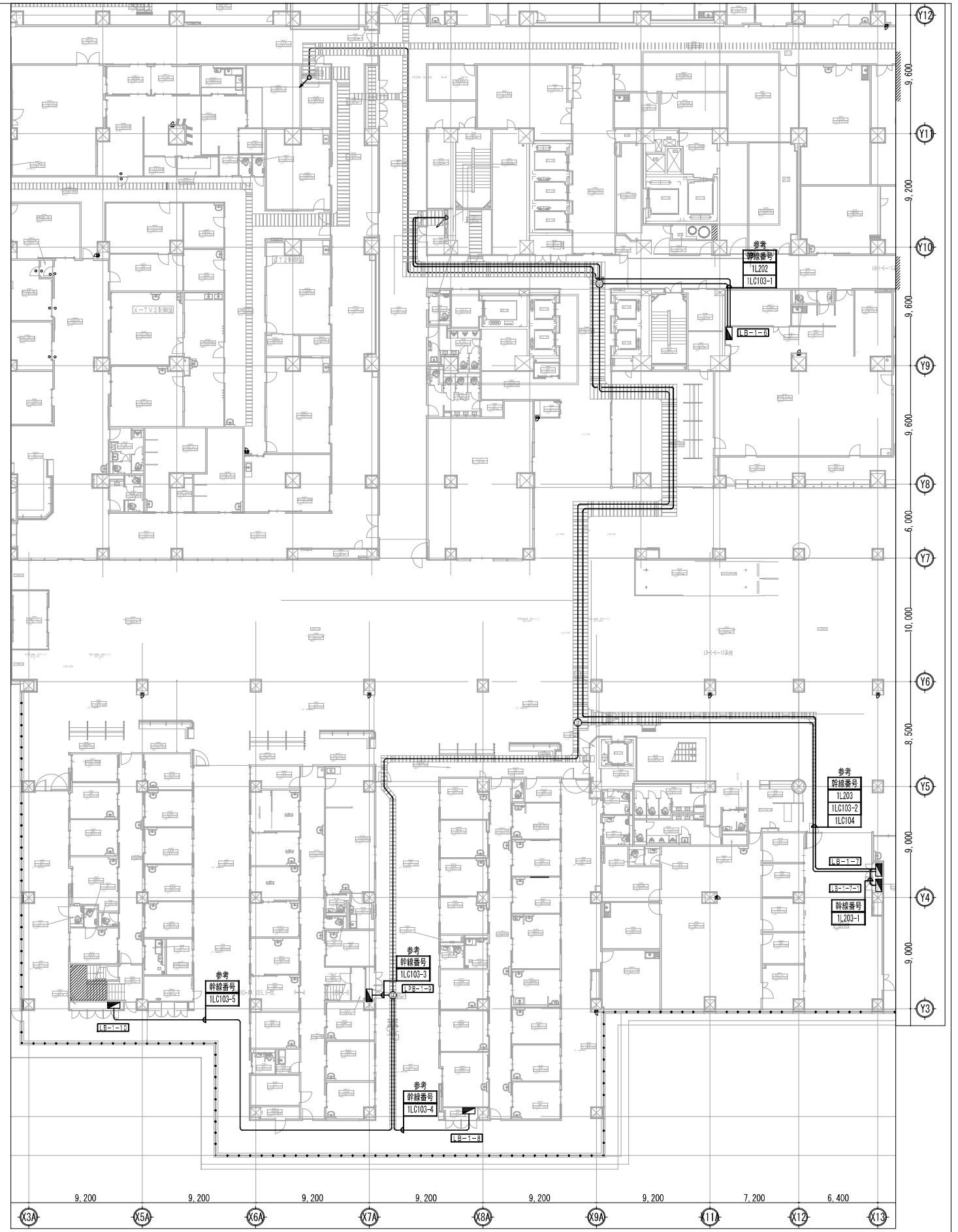
| 幹線番号 | 主幹開閉器 AF/AM (変更前) | 主幹開閉器 AF/AM (変更後) | 行先 | 幹線サイズ (変更前) | 保護配線 器具配管 | 幹線サイズ (変更後) | 保護配線 器具配管 |
|----------|-------------------|-------------------|-------------------------------|-------------|------------------|-----------------|--------------|
| 1L 202 | MCCB3P 225/125 | - | 地下1階電気室 一般電灯コンセントNo.2 | LB-1-6 | EM-CET 60* (E63) | - | - |
| 1L 203 | MCCB3P 100/100 | - | 地下1階電気室 一般電灯コンセントNo.2 (B#) | LB-1-7 | EM-CET100* (E75) | - | - |
| 1L 203-1 | - | - | 地下1階電気室 CQS電灯盤 | LB-1-7-1 | - | EM-CET22* (E51) | 幹線分岐 |
| 1LC103 | MCCB3P 225/225 | - | 地下1階電気室 CQS電灯盤 | LB-1-6 | EM-CET200* (G92) | - | - |
| 1LC103-1 | - | - | | LB-1-6 | EM-CET100* (E75) | - | - |
| | | | | LB-1-7 | EM-CET200* (G92) | - | - |
| 1LC103-2 | | | | LB-1-7 | EM-CET 38* (E51) | - | - |
| | | | | | EM-CET200* (G92) | - | - |
| 1LC103-3 | | | | LPB-1-9 | EM-CET 14* (E39) | - | - |
| 1LC103-4 | | | | LB-1-8 | EM-CET 22* (E51) | - | - |
| 1LC103-5 | | | | LB-1-10 | EM-CET 38* (E51) | - | - |

| 機名 機形式 設置階 | 幹線番号 サイズ 容量 | 主幹開閉器 MCCB 3P AF/AT | 負荷記号 | 負荷名称 | 電圧 | | 分岐 | 主 回路 記号 | 操作 回路 記号 | 制御盤 | | 中央監視盤 | | 火災 信号 種別 | 二次側配管配線 | | 備 考 | | | |
|---------------------------|----------------------------------|---------------------------|----------|-------|------------|----------|-----|---------------|----------------|-----------|----------|----------|----------|----------------|--------------------|----------|--------------------|--------------------|---------|--|
| | | | | | 容量 (KW) | 相 (φ) | | | | 電圧 (V) | 電流 種別 | 状態 表示 | 制御 表示 | | 状態 表示 | 監視 表示 | | 回路 番号 | 配管配線サイズ | |
| P-1-4 (B) 1階 EPS | 1PC103-A EM-CET22* 5.111kW | MCCB3P 50/50 | FE-1-5-1 | 送風ファン | 0.3 | 3 | 200 | C | M20 | C | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | EM-CE3.5*~4C (E25) | 1階WC(女)系配 | | |
| | | | | 送風ファン | 1.5 | 3 | 200 | C | M20 | C | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | EM-CE3.5*~4C (E25) | 1階図書・情報コーナー系配 | | |
| | | | | 送風ファン | 2.3 | 3 | 200 | C | M30 | C | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | EM-CE3.5*~4C (E25) | 1階外装設備(1)系配 | | |
| | | | | 送風ファン | 1 | 200 | M20 | A1 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | 排気ファン | 0.181 | 3 | 200 | C | M20 | C | 3 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | EM-CE3.5*~4C (E25) | 1階執務室系配 | |
| | | | | シャッター | 0.2 | 3 | 200 | C | M20 | A1 | | | | | | | | EM-CE3.5*~4C (E25) | 入退院サポート | |
| | 1PC103-3A | LPB-1-9 | 0.75 | 3 | 200 | C | M20 | A1 | | | | | | | EM-CE3.5*~4C (E31) | | | | | |

□ : 改修範囲を示す。



B1階平面図



1階平面図

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|---------------------------|--|---------------|
| | | | | 株式会社 内藤建築事務所 | | 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 | | 図号 |
| | | | | 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京事務所 第3519号 | | 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 | | E-002 |
| | | | | 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 | | 幹線設備 幹線リスト B1・1階平面図 (改修後) | | 2022. ** . ** |
| | | | | | | A1: 1/200 A3: 1/400 | | 2022. ** . ** |

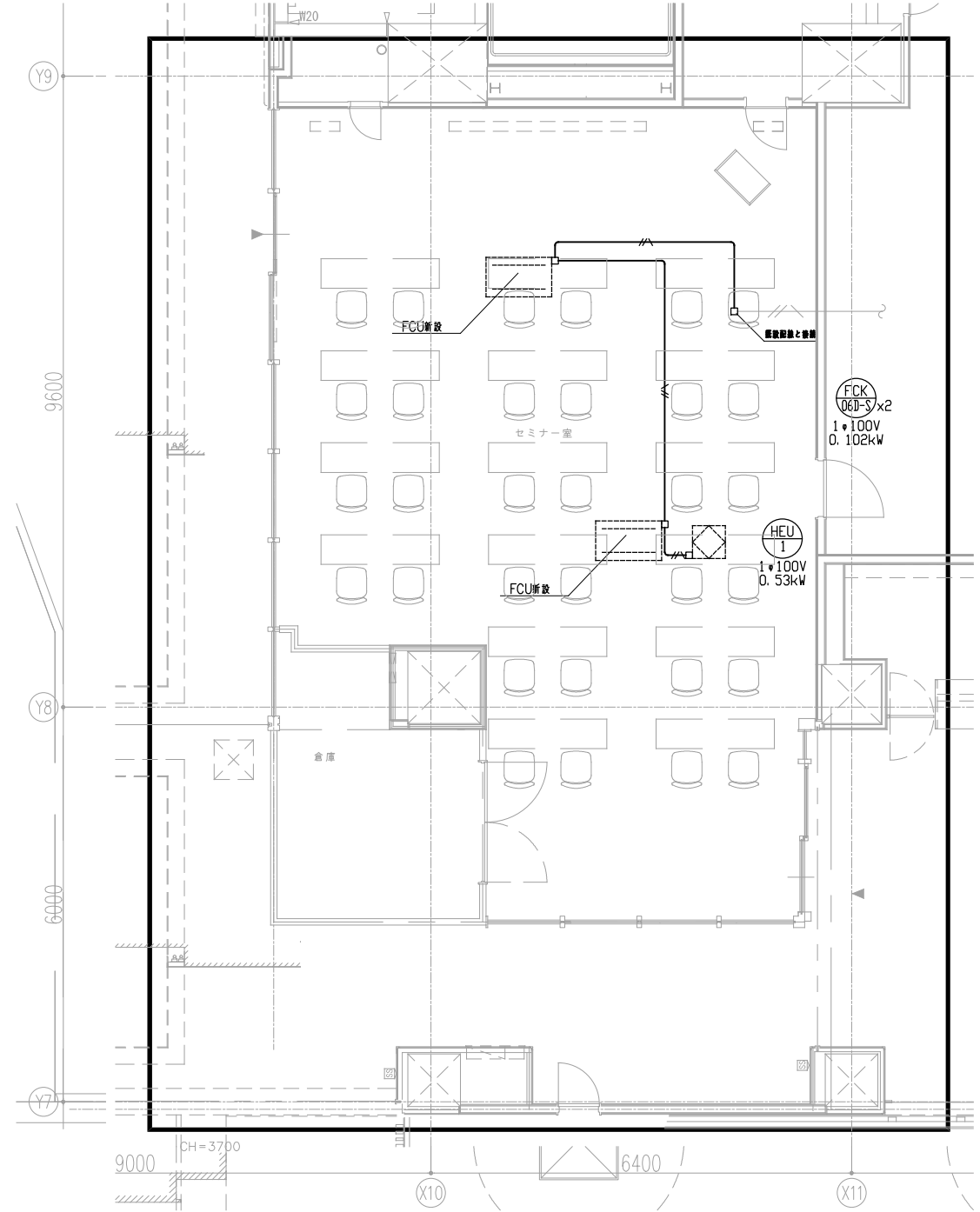
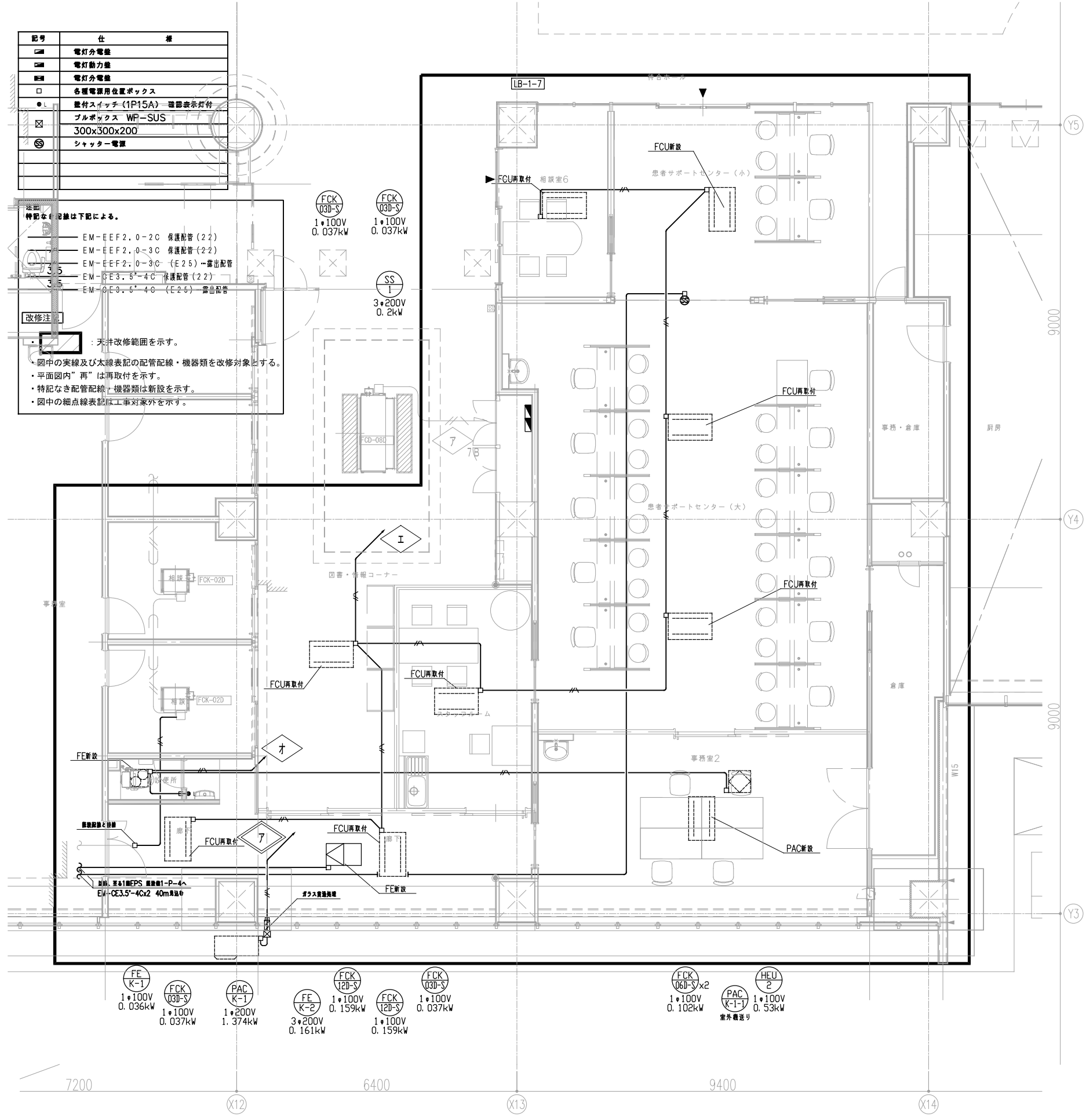
| 記号 | 仕 様 |
|----|----------------------|
| ■ | 電灯分電盤 |
| ■ | 電灯動力盤 |
| ■ | 電灯分電盤 |
| □ | 各種電線用位置ボックス |
| ● | 壁付スイッチ(1P15A) 電器表示灯付 |
| ■ | プルボックス WP-SUS |
| ■ | 300x300x200 |
| ⊙ | シャッター電源 |

法別
特記な配管は下記による。

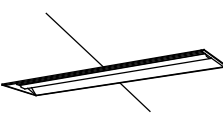
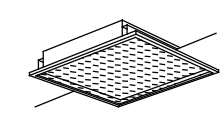
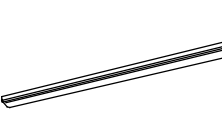
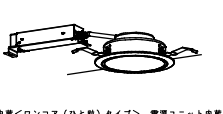
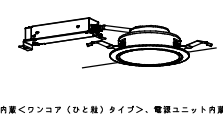
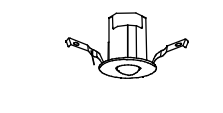

- EM-EFF2.0-2C 保護配管(22)
- EM-EFF2.0-3C 保護配管(22)
- EM-EFF2.0-3C (E25) 露出配管
- EM-CE3.5-4C 保護配管(22)
- EM-CE3.5-4C (E25) 露出配管

改修注記

- 天井改修範囲を示す。
- 図中の実線及び太線表記の配管配線・機器類を改修対象とする。
- 平面図内”再”は再取付を示す。
- 特記なき配管配線・機器類は新設を示す。
- 図中の細点線表記は工事対象外を示す。



| | | | | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| FE K-1 1・100V 0.036kW | FCK 03D-S 1・100V 0.037kW | PAC K-1 1・200V 1.374kW | FE K-2 3・200V 0.161kW | FCK 12B-S 1・100V 0.159kW | FCK 12B-S 1・100V 0.159kW | FCK 06D-Sx2 1・100V 0.102kW | HCU 2 1・100V 0.53kW 室外機送付 |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------|--|---------------------------------|--|-------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| LFA | LED埋込形ベースライト (昼白色) | LFB | LED埋込形スクエア器具 (昼白色) | LFC | LED直付形ベースライト (昼白色) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LFA21 | LED20.6W | LFB38 | LED38W | LFC21 | LED20.6W | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LFA25 | LED25W | | | LFC32 | LED31.9W (約6%~100%調光可能) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LFA44 | LED43.1W (初期生産修正) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  <p>定格出力: 電圧100~242V 本体: 樹脂製 照射角: 照射 (広照射白色専用仕様) ライトバー (カバー) 1: 非リレーユニット (乳白) 寿命: 4000時間 (光衰減率8.5%) 昼白色 (5000K)、Ra83、電圧調整はライトバー側に内蔵</p> <p>LRS3-4-30 LRS3-4-37 LRS3-4-65</p> | |  <p>□450、丸めホリズムパネル、調光可能タイプ (約10~100%) 定格出力: 電圧100~242V 本体: 樹脂製 照射角: 照射 (広照射白色専用仕様) ライトバー (カバー) 1: 非リレーユニット (乳白) 寿命: 4000時間 (光衰減率8.5%) パネル: アクリル (プリズム) 昼白色 (5000K)、Ra83</p> <p>パナソニック: XLS74ZPVKLA99器具</p> | |  <p>定格出力: 電圧100~242V 本体: 樹脂製 (自然発熱仕様) ライトバー (カバー) 1: 非リレーユニット (乳白) 寿命: 4000時間 (光衰減率8.5%) 昼白色 (5000K)、Ra83、電圧調整はライトバー側に内蔵</p> <p>LSSI-4-30 LSSI-4-48LX</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LDA | LEDダウンライト (基礎タイプ) | LDB | LEDダウンライト (基礎タイプ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LDA7 | LED7W | LDB12 | LED11.6W (電球色相当) (約1%~100%調光可能) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  <p>LED内蔵<クォンタ (Dと線) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般白色タイプ 口径φ80、高さ85、照射タイプ 光束照射角15度、光束平均40000時間 (光衰減率8.5%) 電圧100~242V 照射部 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射部 (下部): 樹脂 (ホワイトつや消し仕上げ) 径1調整 (ホワイトつや消し仕上げ)、照射径φ150</p> <p>LRS1-08</p> | |  <p>LED内蔵<クォンタ (Dと線) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般白色タイプ 口径φ80、高さ85、照射タイプ 光束照射角15度、光束平均40000時間 (光衰減率8.5%) 電圧100~242V 照射部 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射部 (下部): 樹脂 (ホワイトつや消し仕上げ) 径2調整 (ホワイトつや消し仕上げ)、照射径φ150</p> <p>パナソニック: XND1569WLLJ99器具</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| α | LED赤電球ダウンライト | m | LED電球口調光器 (天井付) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| α7 | LED 6.6W×1 | mBL1 | B型BL型 (片面) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  <p>φ80、高さ85、天井用 (α=8m) LED内蔵、赤電球1赤電球LED成灯/有線調光 電圧1AC/DC100V 赤電球調光器: L10LE-001 レンズ: ガラス 赤電球LED電球 (ホワイトつや消し仕上げ)、本体: 樹脂</p> <p>KD-LRS11-D6</p> | |  <p>LED調光器コンパクトスクエア B型・BL型 片面 文字色: 赤 二重窓 (20分) ニックルメッキ電極 リン酸ニッケル電極 電圧調整番号: 1AMT11-3492</p> <p>SHI-FRF20P-BL</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 器具番号 器具名称 | 器具取付高さ (m) | 2.1 | 2.4 | 2.8 | 3.0 | 3.4 | 4.0 | 5.0 | 6.0 |
|--------------|------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| α7 | 単体設置 | A1 | 5.0 | 5.1 | 5.2 | 5.2 | 5.1 | 4.9 | 4.4 |
| | 直線設置 | A2 | 12.1 | 12.9 | 13.3 | 13.9 | 14.4 | 14.9 | 14.1 |
| | 扇形設置 | A4 | 10.1 | 10.9 | 11.4 | 12.3 | 13.8 | 14.5 | 14.1 |

| 記号 | 仕 様 | 記号 | 仕 様 |
|----|----------------------|----|-------------------------|
| ☐ | 電灯分電盤 | ● | 非常照明器具 |
| ○ | 天井付器具 (2灯用) AC回路 | ⊙ | 連続口誘導灯器具 |
| ○ | 天井付器具 (2灯用) AC/GC回路 | ● | 感付スイッチ (2P15Ax1) |
| ○ | 天井付器具 (1灯用) AC回路 | ● | 感付スイッチ (3W15A) |
| ○ | 天井付器具 (1灯用) AC/GC回路 | ⚡ | ライトコントロールスイッチ |
| □ | 天井付器具 (スクエア) AC回路 | ⊙ | リモコンスイッチ 回路数は併記とする |
| □ | 天井付器具 (スクエア) AC/GC回路 | ⊙ | 人感センサースイッチ (継機) 1/φ100V |
| ○ | ダウンライト AC回路 | ▽ | 人感センサースイッチ (子機) 広角検知型 |
| ○ | ダウンライト AC/GC回路 | MM | メタルモール |
| □ | アウトレットボックス | | |

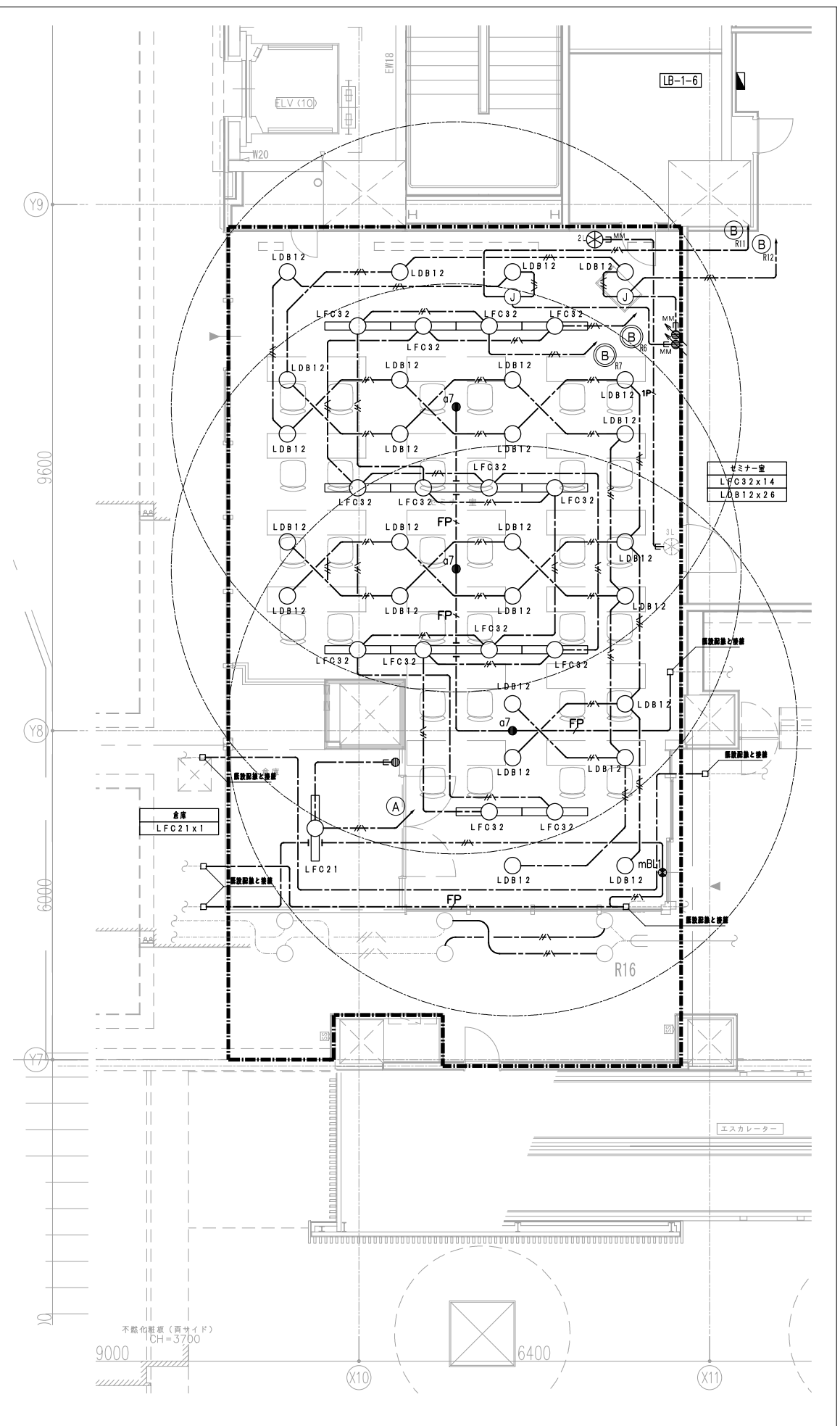
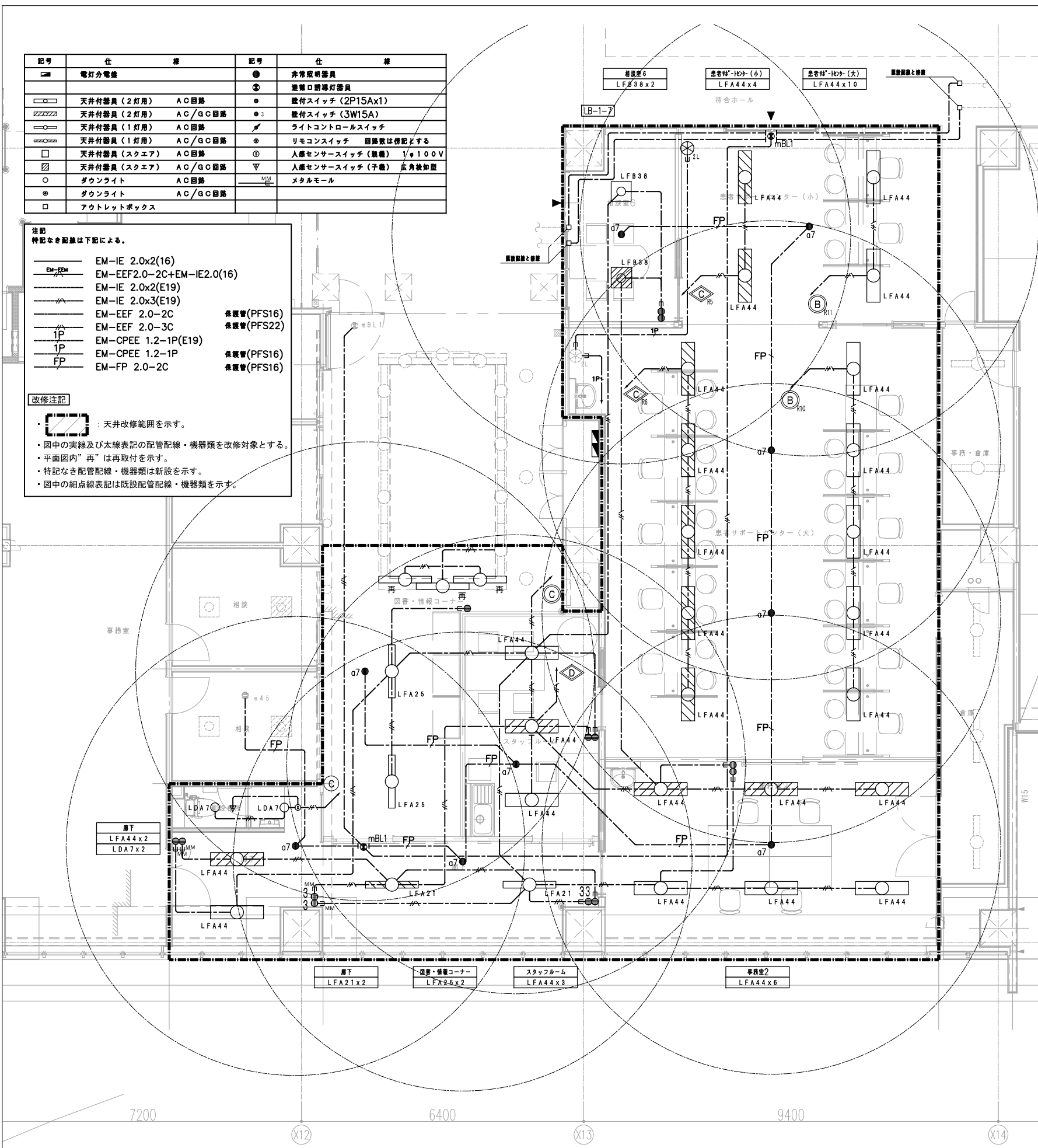
注記
特記なき配線は下記による。

EM-IE 2.0x2(16)
EM-EEF2.0-2C+EM-IE2.0(16)
EM-IE 2.0x2(E19)
EM-IE 2.0x3(E19)
EM-EEF 2.0-2C
EM-EEF 2.0-3C
EM-CPEE 1.2-1P(E19)
EM-CPEE 1.2-1P
EM-FP 2.0-2C

保護管(PFS16)
保護管(PFS22)
保護管(PFS16)
保護管(PFS16)

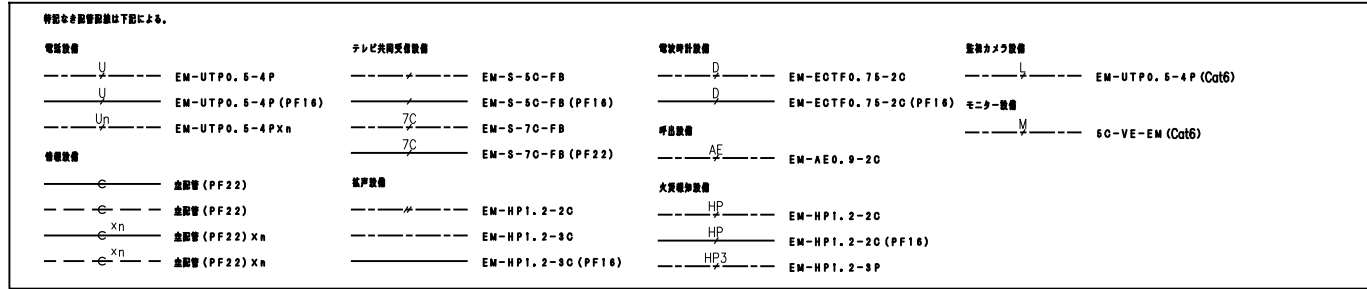
改修注記

- 天井改修範囲を示す。
- 図中の実線及び太線表記の配管配線・機器類を改修対象とする。
- 平面図内"再"は再取付を示す。
- 特記なき配管配線・機器類は新設を示す。
- 図中の細点線表記は既設配管配線・機器類を示す。



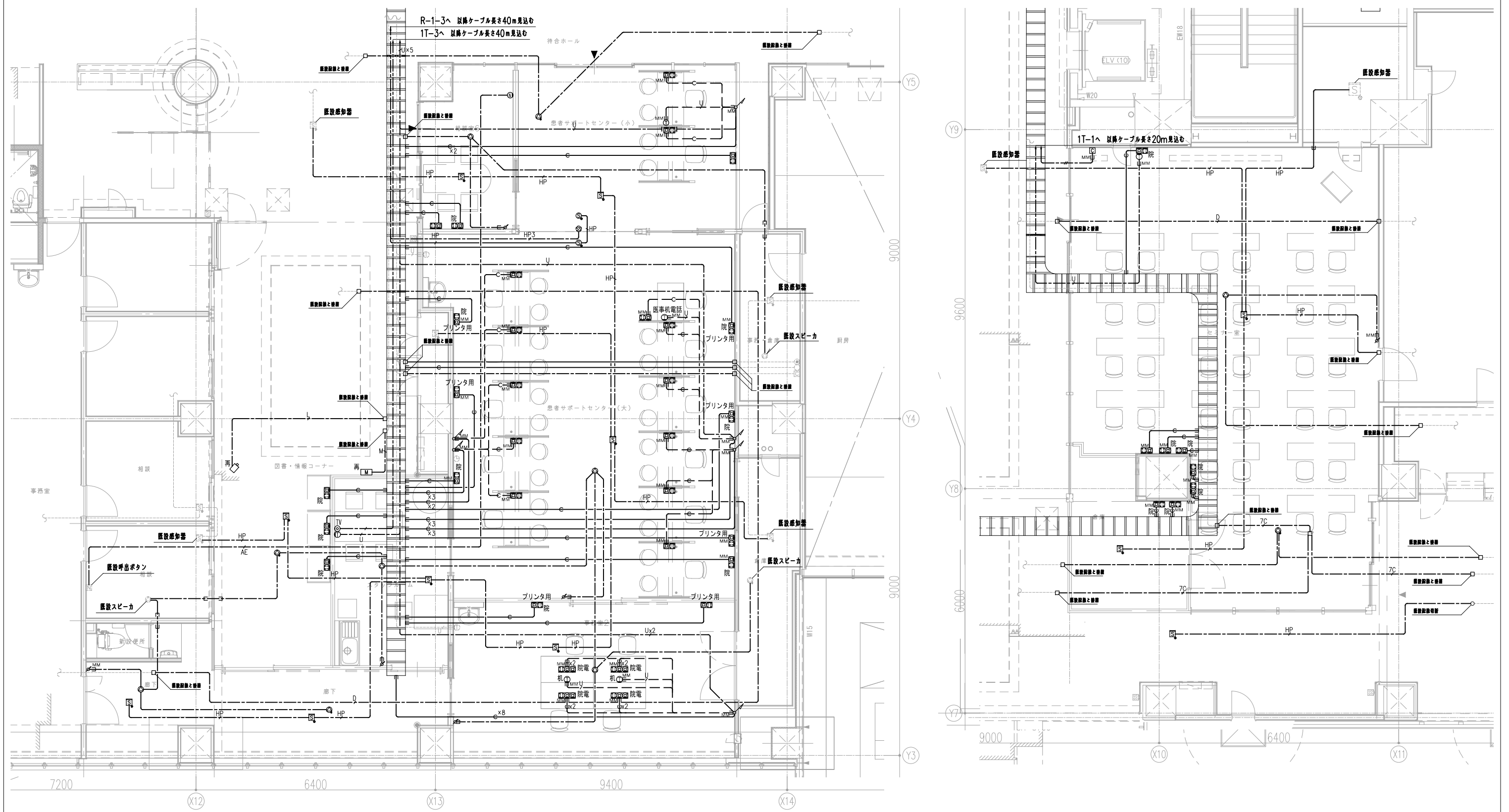
※配管で運行可能なOD管、ビット内や内外はO管とし、それ以外はPFS管とする。
 ※金属配管には呼び線を挿入すること。

| 記号 | 名称 | 番号 | 記号 | 名称 | 番号 |
|----|---------------------|----------|----|-----------------|----------|
| ⊕ | 端子箱 | | ⊕ | ネットロー | |
| ⊖ | 電話機(壁掛) | 8番8番 | ⊕ | 電話呼び出し | |
| ⊖ | 電話機(桌上) | 8番8番 | ⊕ | TV | H:FL+300 |
| ⊖ | 一般LANアクトポート(数多線) X1 | フロンティアX1 | ⊕ | 充電式スマートフォン 2機 | |
| ⊖ | 無線LANアクセスポイント | 無線LAN | ⊕ | 充電式スマートフォン 3機 | |
| ⊖ | 一般LANアクトポート(数多線) X1 | フロンティアX1 | ⊕ | 自動販売機 数台(チャージ機) | 無線LAN |
| ⊖ | 無線LANアクセスポイント | 無線LAN | ⊕ | 電話機 | |
| ⊖ | 一般LANアクトポート(数多線) X2 | フロンティアX2 | ⊕ | モニター | |
| ⊖ | 無線LANアクセスポイント | 無線LAN | ⊕ | 監視カメラ | |
| ⊖ | 天吊型スピーカー | | ⊕ | アクトポートボックス | |
| ⊖ | 天吊型スピーカー ATT機 | | ⊕ | メタルモール(立上げ) | |
| ⊖ | 天吊型スピーカー | | ⊕ | メタルモール(降) | |



改修注記

- 図中の実線及び太線表記の配管配線・機器類を改修対象とする。
- 平面図内”再”は再取付を示す。
- 特記なき配管配線・機器類は新設を示す。
- 図中の細線表記は既設配管配線・機器類を示す。



注記

1. 特記なき配管配線は下記による。

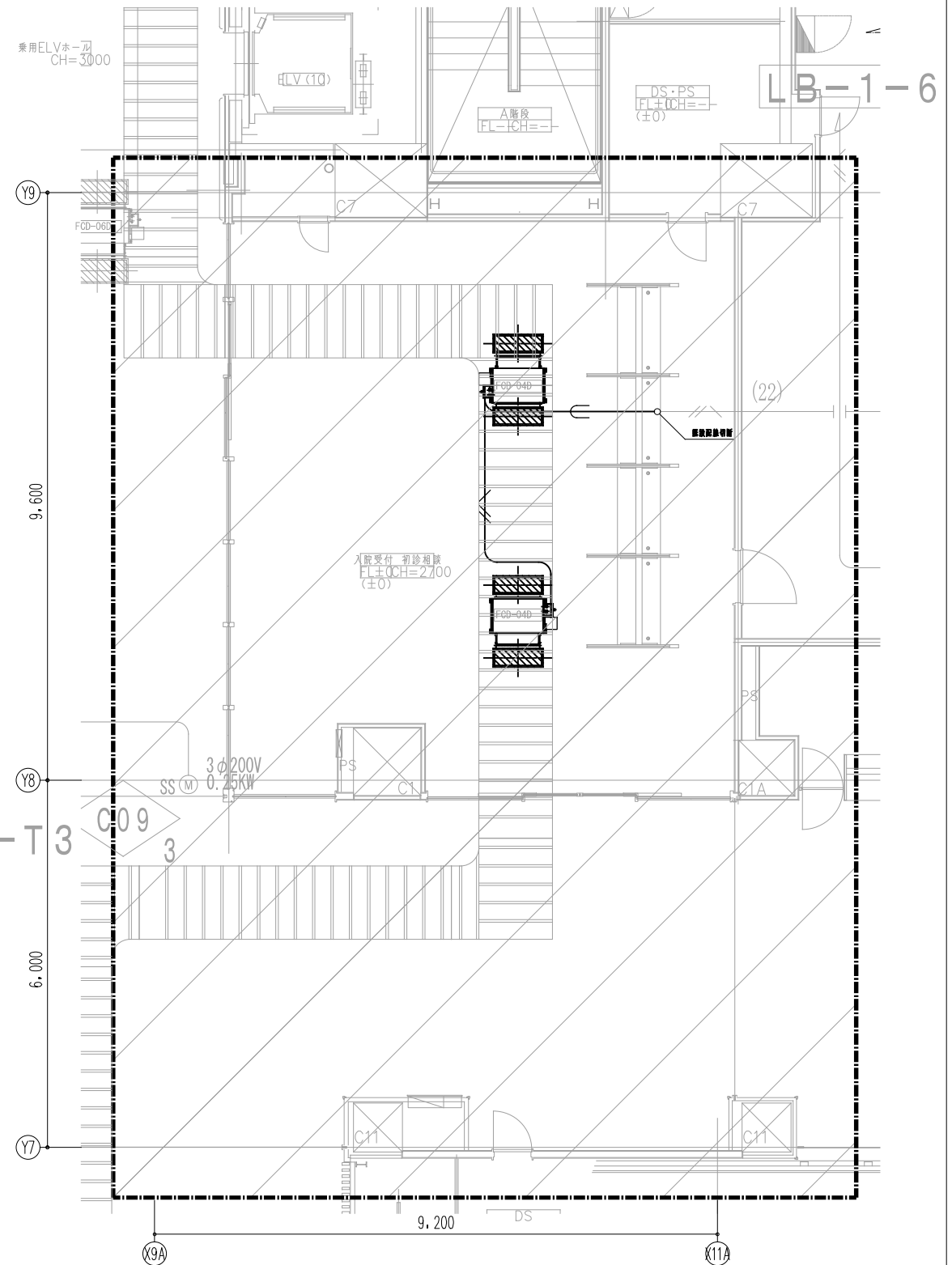
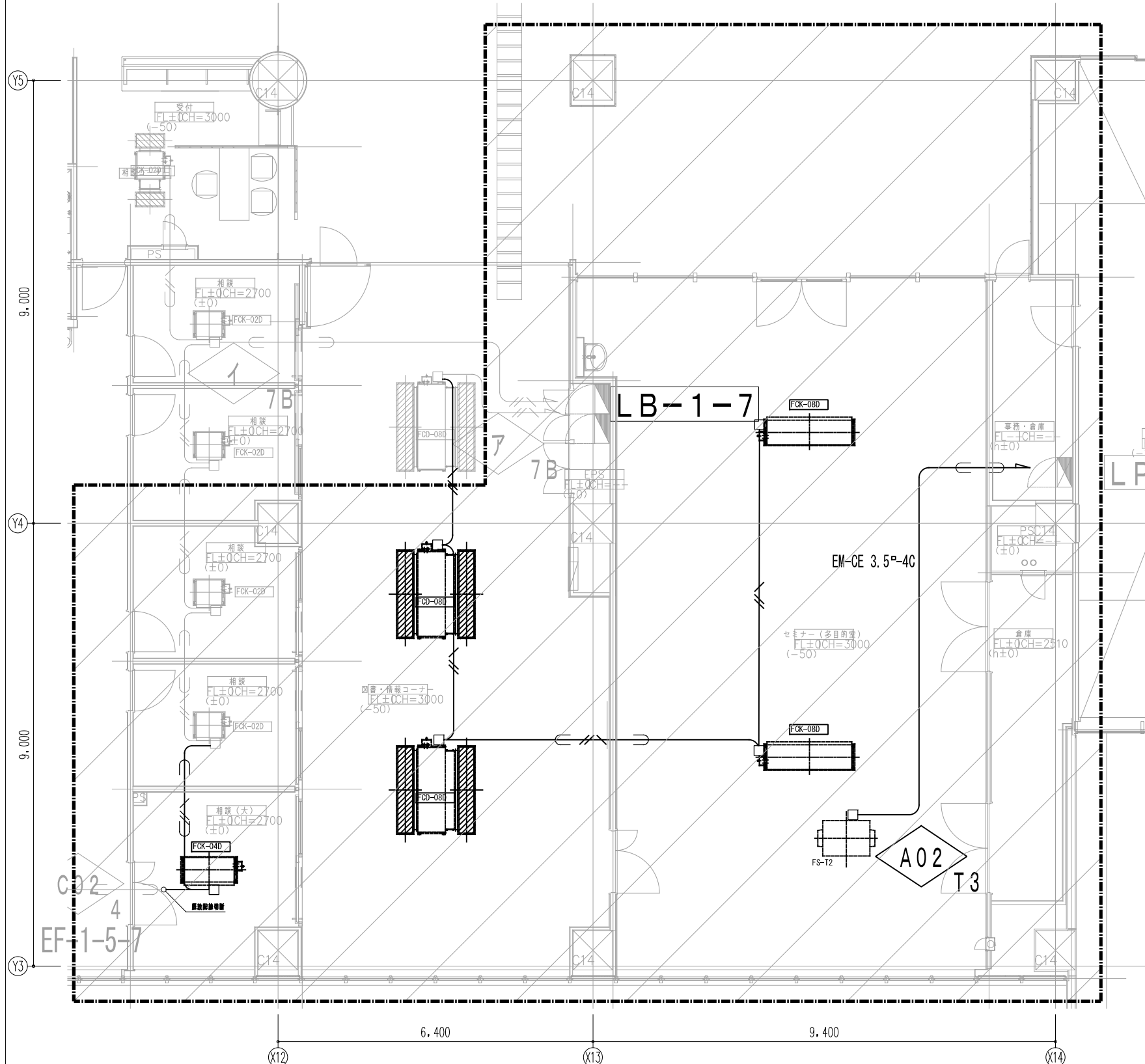
- EM-EEF2.0-3C 保護配管 (22)
- EM-EEF2.0-3C (E25) 露出配管
- EM-CE3.5-4C 保護配管 (22)
- EM-CE3.5-4C (E25) 露出配管

| 記号 | 名称 | 備考 |
|----|-------------|----|
| ■ | 電力分電盤 | |
| ■ | 電力動力盤 | |
| ■ | 動力制御盤 | |
| ■ | 各種電器用設置ボックス | |

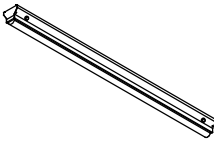
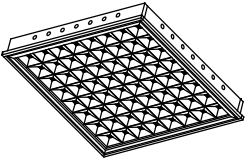
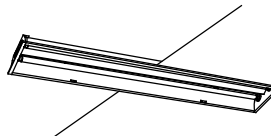
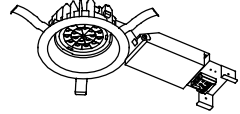
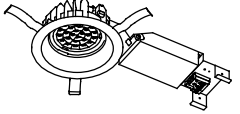
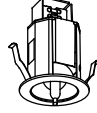

改修注記

■ : 改修範囲を示す。


- ・ 図中の実線及び太線表記の配管配線・機器類を改修対象とする。
- ・ 平面図内”取”は取外し・再利用を示す。
- ・ 特記なき配管配線・機器類は撤去を示す。
- ・ 図中の細点線表記は既設配管配線・機器類を示す。



| | | | | | | |
|-------------------------|--|---|--|--|--|-----------------|
| <p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p> | | <p>株式会社 内藤建築事務所</p> <p>東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都知事登録 第52519号</p> | | <p>地方独立行政法人埼玉県立病院機構</p> <p>工事名 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事</p> <p>図名 動力設備 平面詳細図 (改修前)</p> <p>縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100</p> <p>設計年 2022.***.***</p> | | <p>頁番 E-011</p> |
|-------------------------|--|---|--|--|--|-----------------|

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|--|------------------------|---|------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| LFB | LED直付部ベースライト (昼白色) | LFD | LED直付部スクエア器具 (昼白色) | FD | 埋込下照調光器具 | | | | | | | | | | | | | | | |
| LFB34 | LED34.0W (調光可能約5%~100%) | LFD38 | LED38W | FD322 | FHT32W×2 (有調光機能) | | | | | | | | | | | | | | | |
|  <p>本体 : 1000 白 反射板 : 樹脂 白 高反射ホウライ</p> <p>型式 : LEDT-38021W-LD9</p> | |  <p>本体 : 樹脂 ヒョウホウライ 反射板 : プラスチック 高反射ホウライ</p> <p>型式 : LEDR-32401NW-LD9</p> | |  <p>本体 : 1000 t0.6白 高反射 反射板 : 080 t0.4白 高反射</p> <p>型式 : FRS15-322</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LDA | LEDダウンライト (広角 標準光束タイプ) | LDC | LEDダウンライト (広角 標準光束タイプ) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| LDA21.0 | LED21.0W (電球色相当) | LDC27 | LED27W (電球色相当) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|  <p>本体 : アクリルダイオード 反射板 : 樹脂 パーソナルホワイト 反射板 : プラスチック 高反射ホウライ</p> <p>型式 : LEDD-15001ML-LS9</p> | |  <p>本体 : アクリルダイオード 反射板 : 樹脂 パーソナルホワイト 反射板 : プラスチック 高反射</p> <p>型式 : LEDD-20001ML-LS9</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| o | ダウンライト (非常用白昼灯・専用形) | m | LED直付口照度灯 (天井付) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| o45 | JBD 45W×1 | mBL1 | 直付BL型 (片側) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>非常用照度器具 消防器具適合品 非常用照度器具自主認定委員会適合品</p>  <p>消防器具適合品第1030号に適合する 電圧器具 : 白昼灯 ソケット器具 : 1セクタス 器具内電線種類 : タイプ21用電線 非常用照度器具 : 電線径規格 認定番号 : ILCLH-02</p> <p>型式 : JBD-50101EM</p> | | <p>非常用照度器具 消防器具適合品</p>  <p>型式 : SH1-FSF20-BL</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 器具番号 器具仕様 | 器具取付高さ (m) | 2.1 | 2.4 | 2.6 | 3.0 | 3.5 | 4.0 | 4.5 | 5.0 | 6.0 | |
|--------------|------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
| o45 | 標準照度 | A1 | 4.6 | 4.8 | 4.8 | 4.9 | 4.4 | 3.7 | 2.9 | 2.0 | 1.7 |
| | 最低照度 | A2 | 11.0 | 12.2 | 12.4 | 12.8 | 13.4 | 13.8 | 13.2 | 12.2 | 9.0 |
| | 照度照度 | A4 | 10.2 | 10.8 | 11.2 | 11.9 | 12.4 | 12.9 | 13.2 | 12.2 | 9.0 |

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|--|----------------------------------|--|---|--|
| | | | | |  株式会社 内藤建築事務所 | | 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 | | 図番 E-012 | |
| | | | | | 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都府登録 第55519号 | | 工事名 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 | | | |
| | | | | | 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 | | 図名 照明器具姿図 (撤去) | | 図尺 A1: N.S A3: N.S 図時日 2022.**,** | |

注記
特記なき配線は下記による。

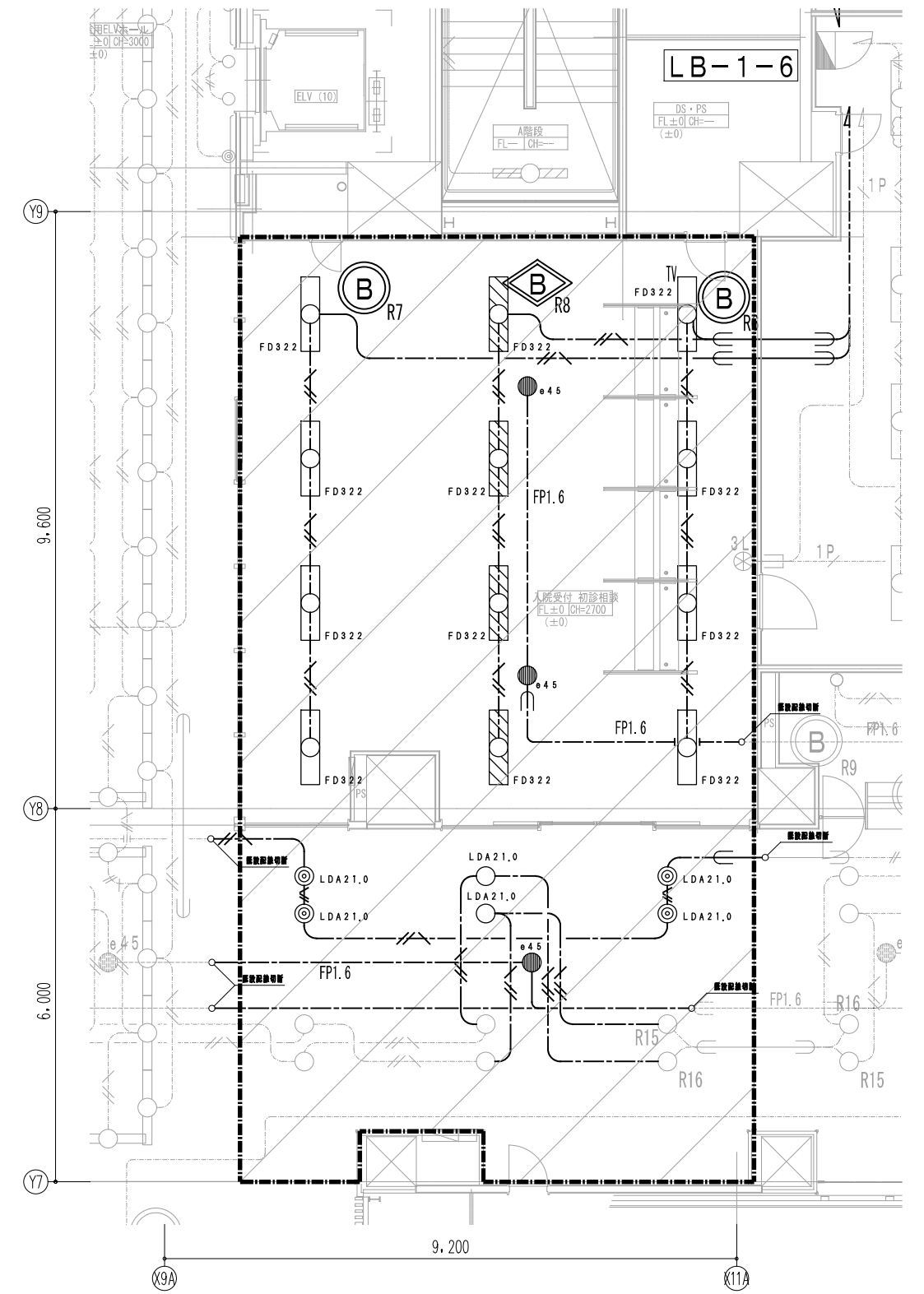
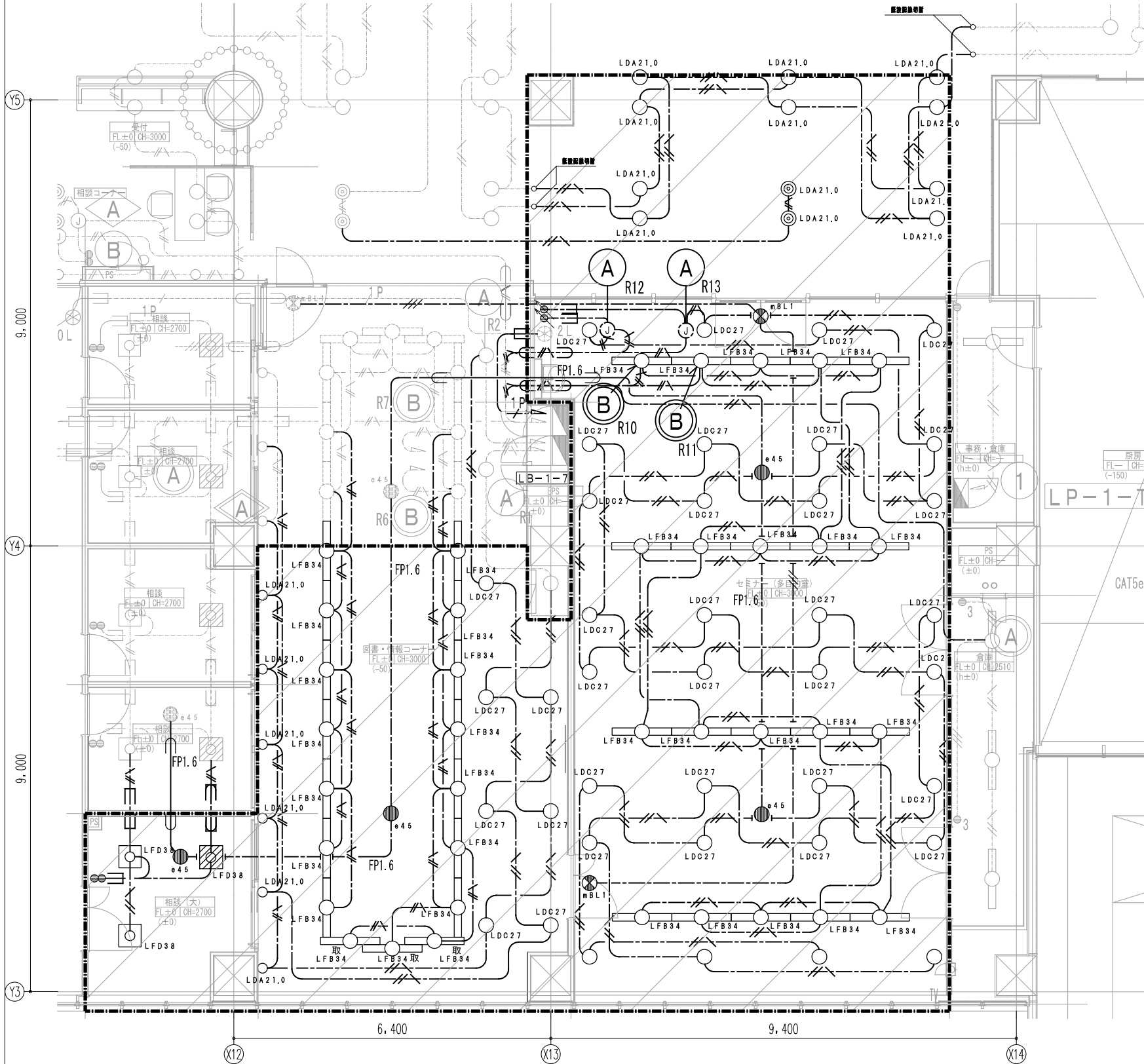
| | |
|---------------------------|------------|
| EM-IE 2.0x2(16) | 保線管(PFS16) |
| EM-EEF2.0-2C+EM-IE2.0(16) | 保線管(PFS22) |
| EM-IE 2.0x2(E19) | |
| EM-IE 2.0x3(E19) | |
| EM-EEF 2.0-2C | 保線管(PFS16) |
| EM-EEF 2.0-3C | 保線管(PFS16) |
| EM-CPEE 1.2-1P(E19) | 保線管(PFS22) |
| EM-CPEE 1.2-1P | |
| EM-FP 1.6-2C | 保線管(PFS16) |
| EM-EEF 2.0-3C | 保線管(PFS22) |

| 記号 | 仕 様 | 記号 | 仕 様 | 記号 | 仕 様 |
|----|----------------------|----|-----------------------|----|---------------------------|
| ☐ | 電灯分電盤 | ⊙ | 非常照明器具 | ⚡ | ライトコントロールスイッチ HF蛍光灯用(16A) |
| ☐ | 天井付器具(2灯用) AC回路 | ⊙ | 避難口誘導灯器具 | ⚡ | ライトコントロールスイッチ 白熱灯用(800W) |
| ☐ | 天井付器具(2灯用) AC/G/O回路 | ● | 壁付スイッチ(2P15Ax1) | ⊙ | リモコンスイッチ |
| ☐ | 天井付器具(1灯用) AC回路 | ● | 壁付スイッチ(3W15A) | ⊙ | プルボックス |
| ☐ | 天井付器具(1灯用) AC/G/O回路 | ● | 壁付スイッチ(4W15A) | ⊙ | プルボックス:防水型 避難用船メッキ |
| ☐ | 天井付器具(スクエア) AC回路 | ● | 壁付スイッチ(避難ランプ付) | ○ | 露出丸型ボックス 2方出し 3方出し |
| ☐ | 天井付器具(スクエア) AC/G/O回路 | ● | 壁付スイッチ(2P15Ax1)-防水型 | | |
| ☐ | 壁付器具(1灯用) AC回路 | ● | 自動滅灯器 | | |
| ☐ | 壁付器具(1灯用) AC/G/O回路 | ⊙ | 人感センサースイッチ(簡易) 1φ200V | | |
| ○ | ダウンライト AC回路 | ⊙ | 人感センサースイッチ(簡易) 1φ100V | | |
| ○ | ダウンライト AC/G/O回路 | ▽ | 人感センサースイッチ(子機) 広角検知型 | | |
| ● | ダウンライト AC/G/O回路 | ← | 人感センサー換気スイッチ | | |

改修注記

☐ : 天井改修範囲を示す。

- 図中の実線及び太線表記の配管配線・機器類を改修対象とする。
- 平面図内”取”は取外し・再利用を示す。
- 特記なき配管配線・機器類は撤去を示す。
- 図中の細点線表記は既設配管配線・機器類を示す。



| 記号 | 名称 | 備考 |
|----|------------------|-----------|
| ① | 2P16AEX2 | |
| ② | 2P16AEX2 | 電機コンセント |
| ③ | 2P16AEX1 | 電機ネットリレー用 |
| ④ | 2P16AEX2 (AO-00) | 電機コンセント |
| ⑤ | 2P16AEX2 (AO-00) | 電機コンセント |
| ⑩ | アラートボックス | オートアラーム |

詳細な設備配置は下記による。

--- EM-EFF2.0-30 換気機 (22)

--- EM-EFF2.0-30 OA室内設備

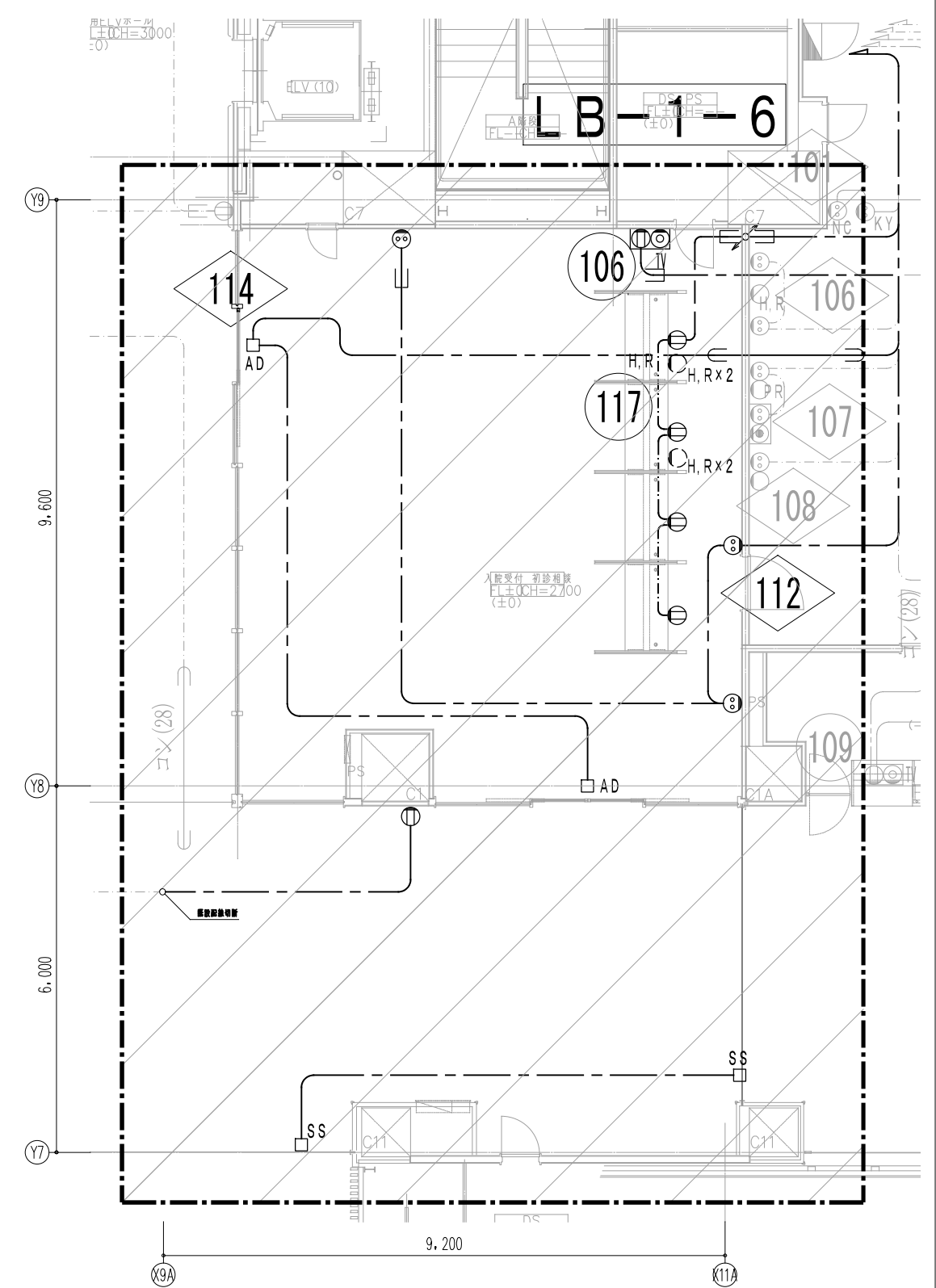
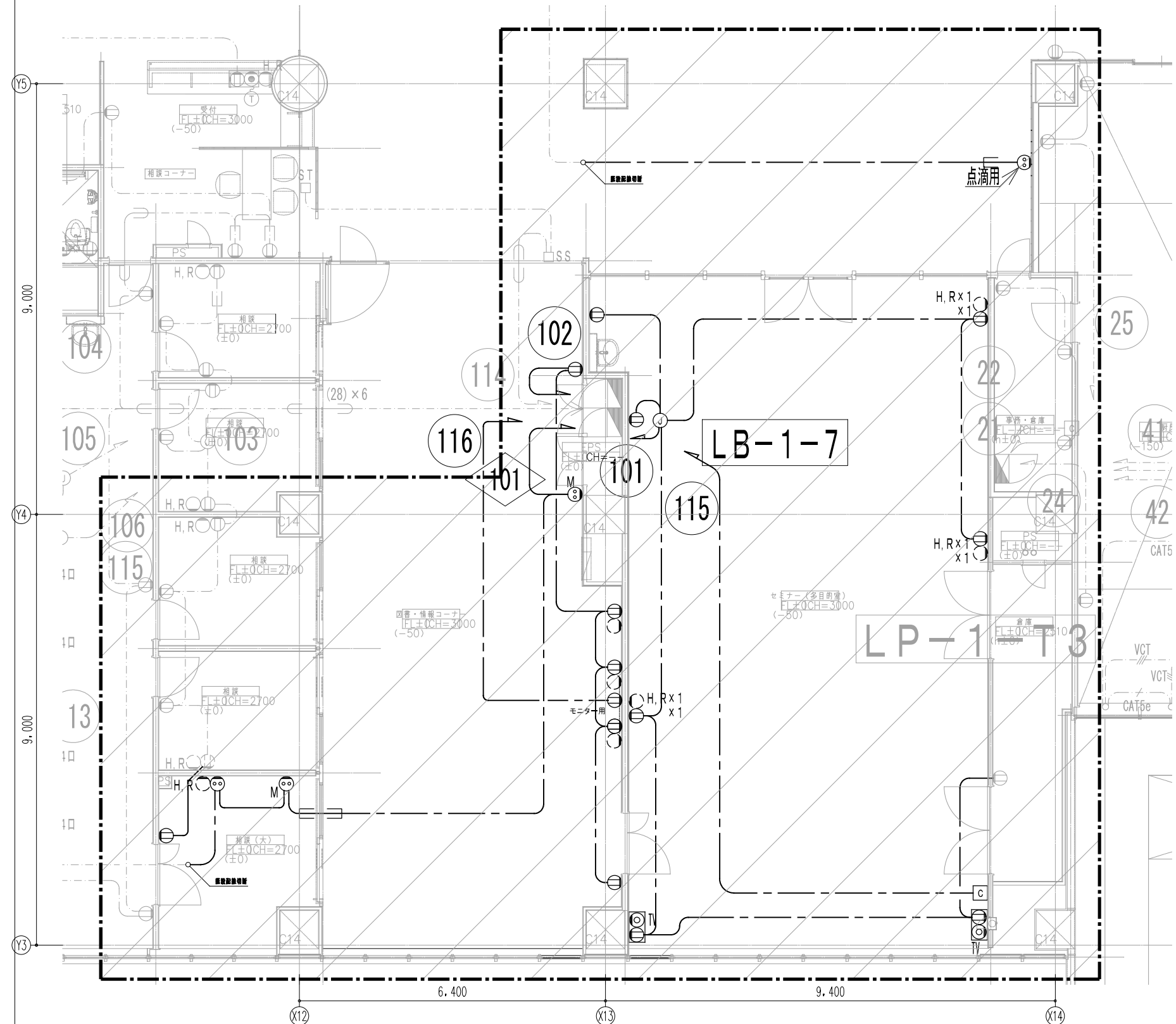
--- EM-EFF2.0-30 (22)

--- EM-EFF2.0-30 (22)

換気機は行込機とOD管、それ以外の配管はPFS管とする。

改修注記

- ◻ : 改修範囲を示す。
- 図中の実線及び太線表記の配管配線・機器類を改修対象とする。
- 平面図内”取”は取外し・再利用を示す。
- 特記なき配管配線・機器類は撤去を示す。
- 図中の細点線表記は既設配管配線・機器類を示す。



(1) 特記なき配管記号は下記による。

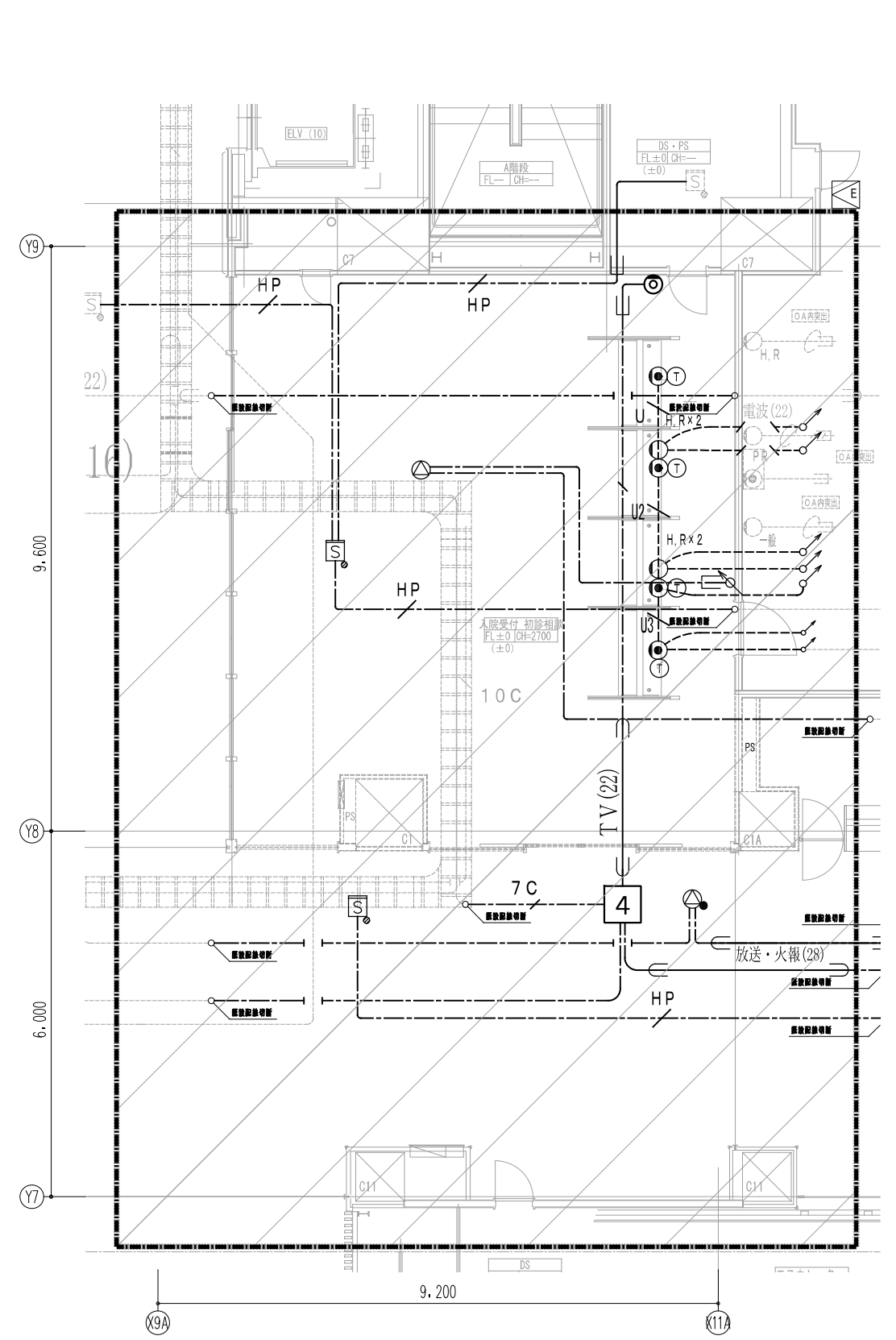
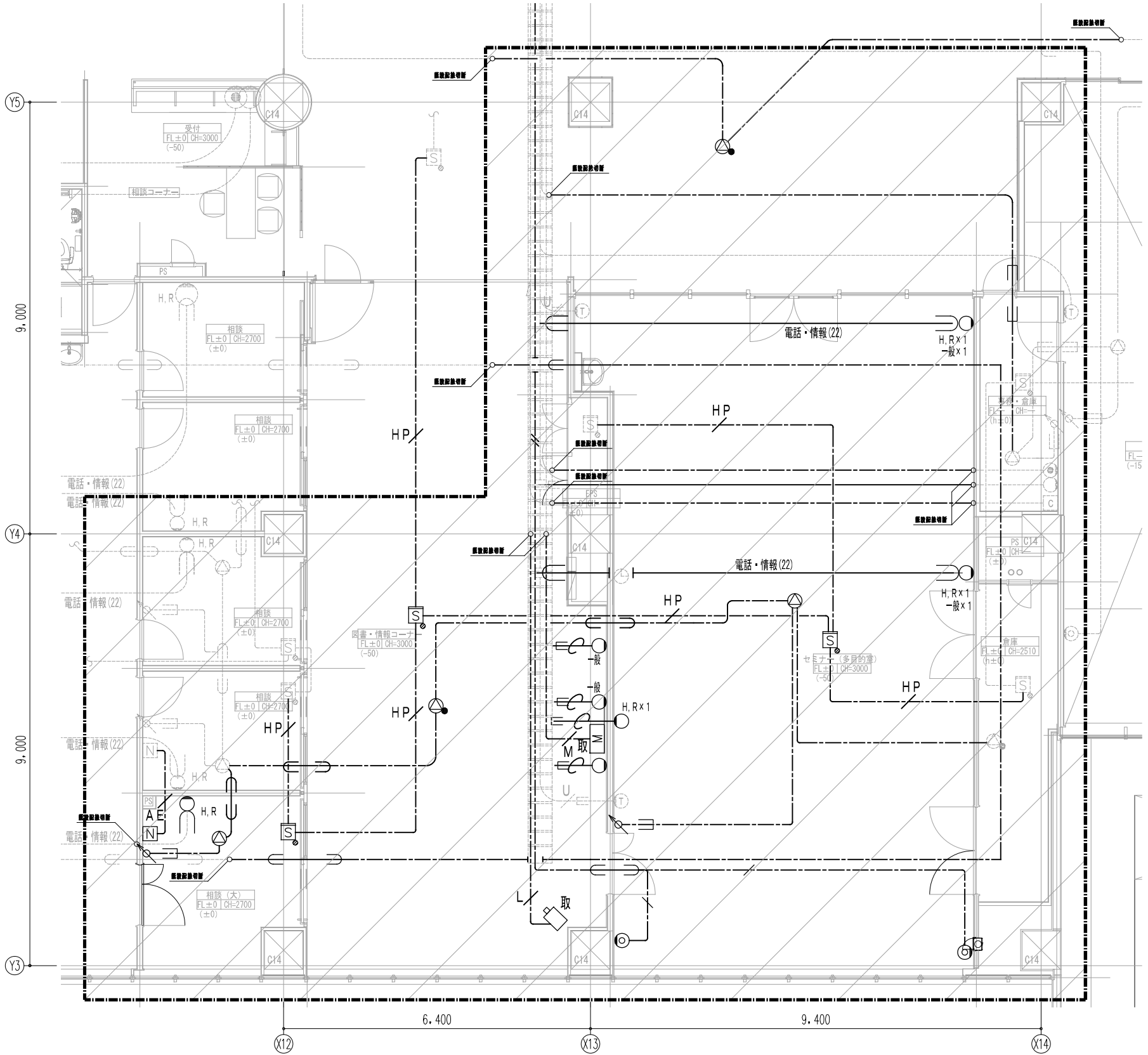
| | | | | | |
|------|-------------------------|--------|-------------------------|---------|------------------------------|
| 電話設備 | EM-UTP0.5-4P 保護配管(16) | テレビ設備 | EM-S-5C-FB 保護配管(16) | 呼び鈴設備 | EM-AE0.9-2C 保護配管(16) |
| | EM-UTP0.5-4PX2 保護配管(22) | | EM-S-7C-FB 保護配管(22) | 火災警報設備 | EM-HP1.2-2C 保護配管(16) |
| | EM-UTP0.5-4PX3 保護配管(22) | 放送設備 | EM-HP1.2-2C 保護配管(16) | 監視カメラ設備 | EM-UTP0.5-4P (Cat6) 保護配管(16) |
| 音響設備 | 並配管(22) | | EM-HP1.2-3C 保護配管(16) | モニター設備 | V5-3C-EM 保護配管(16) |
| その他 | 並配管(22) | 電機時計設備 | EM-VCTF0.75-2C 保護配管(16) | | |

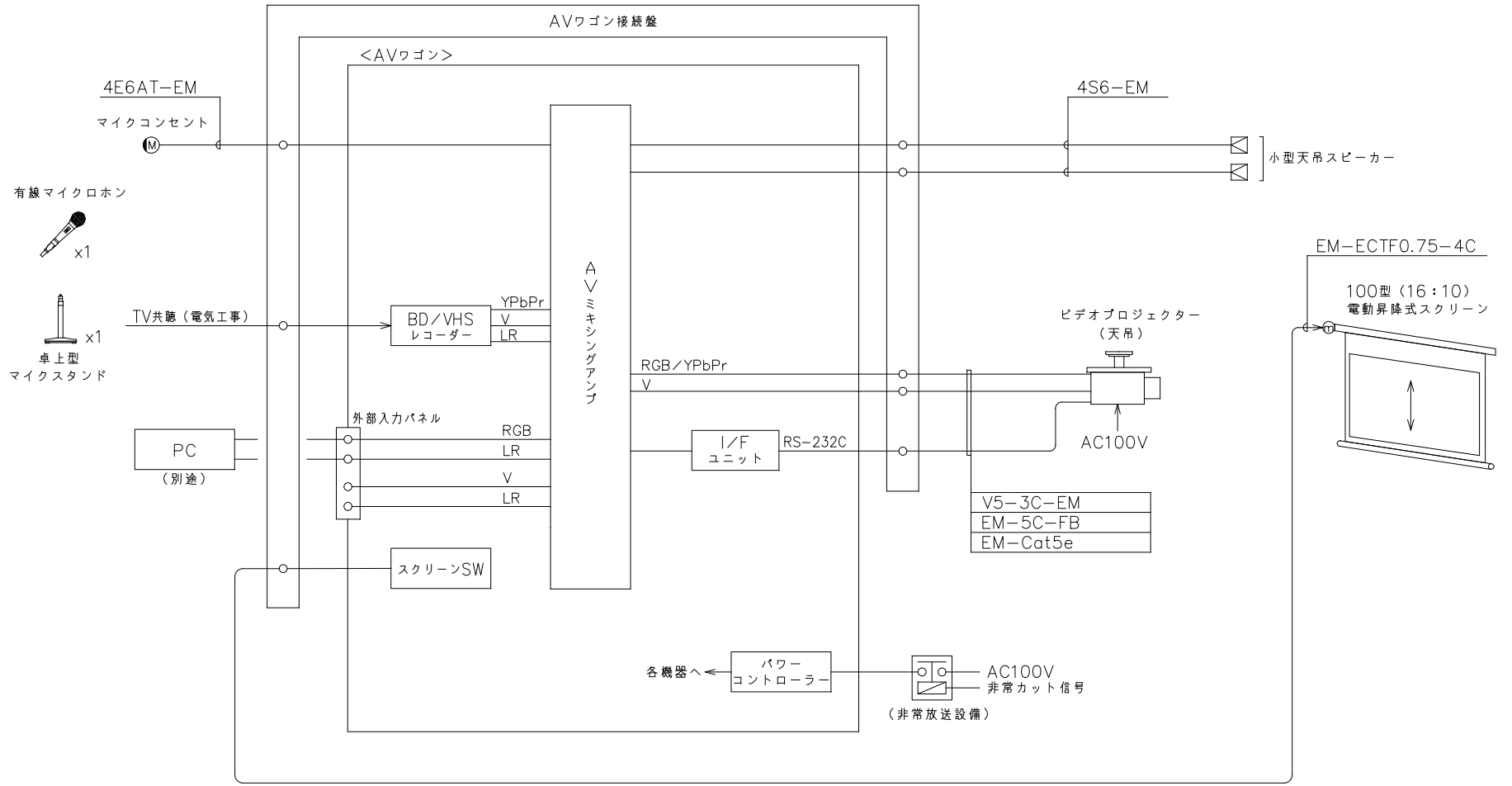
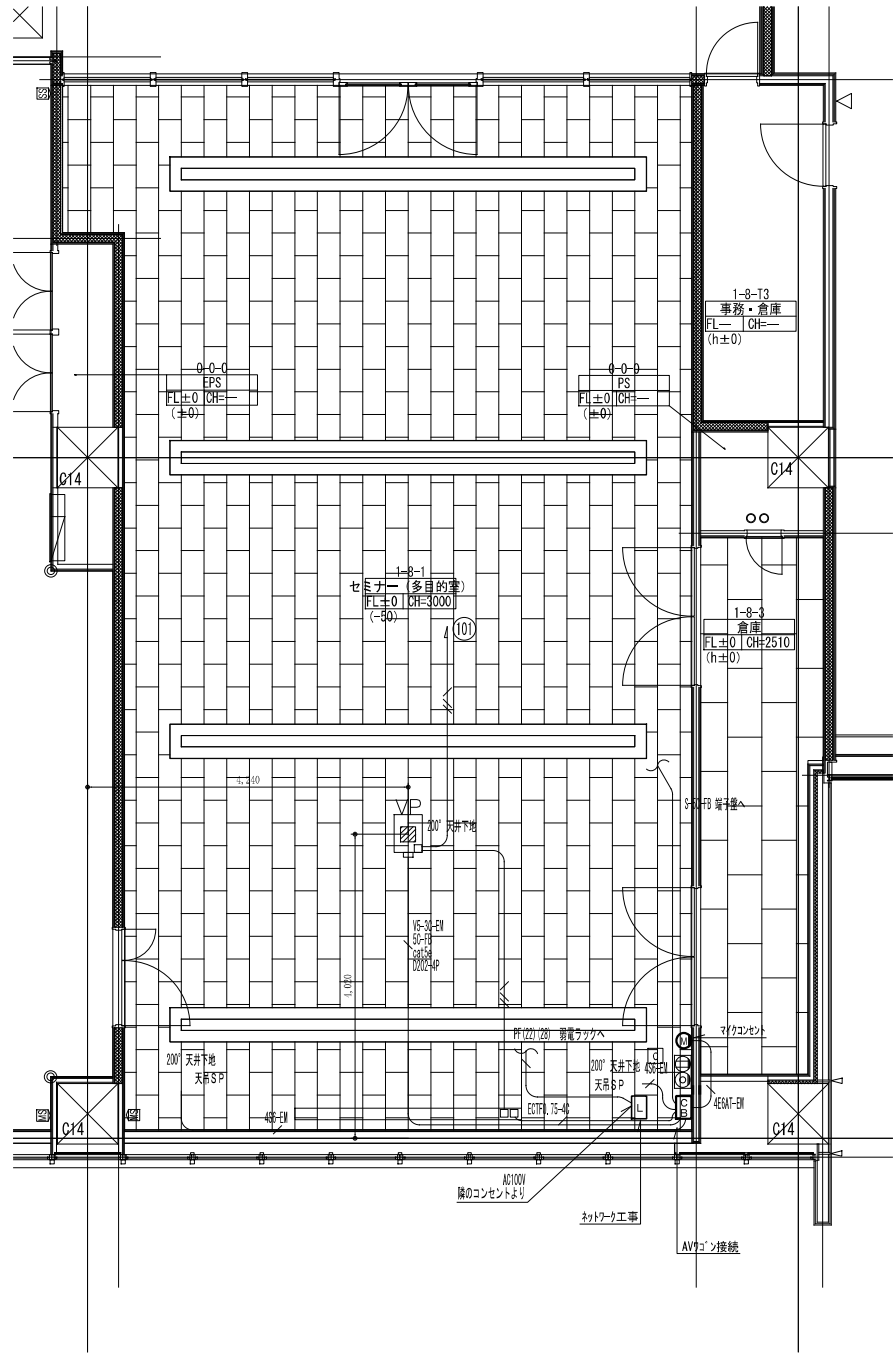
※配管で屋外打込部分はOD管、ピット内や屋外はG管とし、それ以外はPFS管とする。 ※配管で屋外打込部分はOD管、ピット内や屋外はG管とし、それ以外はPFS管とする。

| 記号 | 名称 | 備考 | 記号 | 名称 | 備考 |
|----|--------------------------------|-----------|----|------------------|----------|
| □ | 端子盤 | | ○ | 天井埋込スピーカー (ATT付) | |
| ○ | 電話M J | 8面8芯 | ○ | 天井埋込スピーカー (ATT無) | |
| ○ | アクトレットボックス (ノズルプレート付) | | ○ | アクトレット | 比FL+1300 |
| ○ | 一般LANアクトレット (1コア、黄LAN、黄LAN) | フランクチップx1 | ○ | 音響ホーン | |
| ○ | 医療情報LANアクトレット (R1S、R1S、黄LANx2) | フランクチップx2 | ○ | 無線LANスポット照明器具 2燈 | |
| ○ | ブルボックス | | ○ | 電機時計 | |
| ○ | TV埋込ユニット (2面) | 比FL+300 | ○ | モニター | |
| ○ | 4分器 | 天井内設置 | ○ | 監視カメラ | |

改修注記

- 図中の実線及び太線表記の配管配線・機器類を改修対象とする。
- 平面図内"取"は取外し・再利用を示す。
- 特記なき配管配線・機器類は撤去を示す。
- 図中の細点線表記は既設配管配線・機器類を示す。





改修注記

・図中の機器は移設再利用とし配管配線は全て撤去とする。

| | | | | | | | |
|------------------|--|--|--|---------------------------|--|---|--|
| | | 株式会社 内藤建築事務所 | | 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 | | 図番 | |
| | | 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級電気工事士事務所 東京都知事登録 第52519号 | | 22がんセンター入退院サポートセンター設置改修工事 | | E-016 | |
| | | | | AV設備(1階セミナー室) (改修前) | | 図名 縮尺 A1: 1/30 A3: 1/100 図日 2022.02.22 | |
| 地方独立行政法人埼玉県立病院機構 | | | | | | | |